



田村市ご当地グルメプロジェクト
はこぎき まつじ
箱崎 哲司さん

飲食店と生産者がタッグ、 食で発信、田村市の魅力

「田村市を食の面からPRしよう」との思いから市内の飲食店や生産者の皆さんが参加してスタートした「田村市ご当地グルメプロジェクト」。代表の箱崎哲司さんから約30人のメンバーが定期的に会合を持ちながらメニュー開発を行ってきました。

「はじめりはグリーン・ツリーズムを盛り上げる一環として、何か新しい名物を作れたらという何げないアイデアでした。身近にあるおいしい野菜を使ったメニューということで、ラーメンや丼ものなどさまざまな案が出ましたが、カレーで意見が一致しました。やっぱりみんな好きなんですよ(笑)」

どんなカレーを作ろうか、頭を悩ませていた箱崎さんたちは、あえて同じレシピにはせず、参加店舗ごとにオリジナルのカレーを考

知事 だより

知事の活動を伝えるコーナー!



福島県の復興支援のために県外から派遣された職員の皆さんを歓迎しました。

震災と原発事故からの復興支援として、全国の自治体や民間企業などから153名もの皆さんが応援に来てくださいました。

合同着任式では、代表者から「福島県の皆さんと共に、前例のない困難な課題に果敢に立ち向かっていきたい」という力強い言葉をいただきました。

皆さんには、それぞれの業務で力を発揮され、共に福島県の復興・創生をさらに進めてまいります。

地方自治法派遣職員等合同着任式 (福島県自治会館)



派遣職員の皆さんのご活躍を期待します!



▲各地のイベントなどに積極的に出店し、メニューの知名度アップを図っています。カレーは子どもから大人まで大人気！

山ぶどう「北醇」を使った商品には、ムースや焼き菓子のほかワインも。



▲たむら八彩カレー



▲岩瀬農業高校の生徒たちとコラボして「北醇」などを使ったスイーツも開発しました。

案することに。ルールは田村市の食材を8種類、うち野菜を5種類以上使用し、彩りよく盛り付けること。こうして生まれたのが「たむら八彩カレー」です。箱崎さんがオーナーを務める「レストランドルフィン」では、葉物野菜をふんだんに使ったサラダ感覚のカレーを提供しており、評判も上々。また、「たむら八彩カレー」の発表から1年後には山ぶどうを使った「たむらご当地スイーツ『北醇』」を発表するなど精力的な活動が評価され、「ふくしま地産地消大賞」に輝きました。

「私自身、この活動を通して元の魅力ある食材を知ることができましたし、さまざまな可能性に気付くこともできました。生産者からも、「こんな野菜を使いませんか?」と提案していただくことも増え、親密な関係作りができていると感じます」

現在は第3弾となるメニューを企画。田村市から新たなご当地グルメが生まれる日も近いかもしれません。

外から見た福島のイトコロ教えます

ふくしま

二重マル

飯坂電車をテーマにした面白い企画も考えています!

さいとうくみこ 斉藤久美子さん (東京都出身)

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。

第6回は、(株)fs(えふず)ほけっとで福島魅力を発信している斉藤さんです。

地元の人が気付かない福島を発見したい!

海外旅行の添乗員経験を活かして旅行会社を運営していますが、福島には魅力的な風景がたくさんありますね! 以前、春の桃畑で摘花作業をしたとき、地面いっぱいに降り積もった花びらが美しく感激しました。住んでいる人には当たり前でも、外から来た人には新鮮に映ることや景色がたくさんあると思って、旅の企画をしています。多くの人に福島を訪れてほしいです。



ツアーのネタ探しに、本カフェ信夫山文庫へ